

水道局「H T T ゼロエミッションアドバンス工事」試行要領Q & A (令和7年7月1日)

1. 対象工事

Q1-1 既に契約済みの案件はアドバンス工事の対象になりますか。

A1-1 令和6年4月1日時点で現場未着手の案件は、対象とすることができます。なお、アドバンス工事への取り組みを希望する場合は、監督員と事前に相談の上、H T T ゼロエミッションアドバンス工事に取り組む旨を議事録等に残してください。

また、既に初回の施工計画書が提出している場合には、現場着手日前までに「H T T ゼロエミッションアドバンス工事 計画書」(別紙2)を作成し、提出してください。

2. 取組内容

Q2-1 具体的な取組事例はどのようなものがありますか。

A2-1 以下のようなものが挙げられます。

(低炭素化に関する取組事例)

- ・国土交通省の低炭素型建設機械認定を取得した建設機械の使用
- ・国土交通省の燃費基準達成建設機械認定を取得した建設機械の使用
- ・B5 軽油の使用
- ・GTL 燃料の使用
- ・軽油燃焼促進剤の使用
- ・低炭素(中温化)アスファルト混合物の使用
- ・原料にバイオマスを使用した規制材の使用
- ・グリーン電力の調達

(H T Tに関する取組事例)

- ・ソーラーパネルや蓄電池が付いた投光器の使用
- ・ソーラーパネルや蓄電池が付いた電光規制標識の使用
- ・ソーラーパネルや蓄電池が付いたデジタルサイネージの使用
- ・工事用照明をLED灯に変更
- ・ソーラーパネル付きユニットハウスの設置

上記に示す以外にも、国土交通省が公開しているデータベース「N E T I S (新技術情報提供システム)」に低炭素化や H T T に関する新技術が多数掲載されていますので、取組内容検討の参考にご覧ください。

Q2-2 同じ取組事例を複数提案してもよいでしょうか。例えば、現場内の工事用照明をすべてLED灯に変更する場合、照明の種類ごとに別の取組として提案できますか

A2-2 同じ取組事例の場合は、1つの取組となります。

Q2-3 要領 4-3 (3)「取組に対して当局が費用を計上していないこと。」とありますが、どのように判断したらよいでしょうか。

A2-3 当局が仕様書等で規定する建設機械や資材を使用した取組は、費用が計上されているため、対象外となります。

また、現場環境改善の実施内容にて「1 仮設備関係 ①環境負荷の低減」を選択している場合も対象外となります。

ただし、当局が仕様書等で規定する建設機械や資材に対して、さらなる環境負荷の低減が見込めるものについては、費用が計上されていないと考え、対象とすることができます。

Q2-4 取組の実施状況は、どの程度の頻度で撮影したらよいでしょうか。

A2-4 写真は取組 1 つごとに 1 回撮影してください。撮影方法や提出方法等については、工事記録写真撮影要項の「その他 環境対策・イメージアップ」によります。

3. 成績評価

Q3-1 工事成績評価における評価方法を教えてください。

A3-1 提案した取組が適切に実施されていることが確認できた場合、表 1 のとおり工事成績評価にて評価します。

なお、提案した取組が 1 つでも実施できなかった場合は、評価されません。

表 1 工事成績評価における評価方法

組合せ例	取組内容		工事成績評価における評価		
	低炭素化に関する取組	HTTに関する取組	社会的貢献※ ¹ (1 点)	創意工夫と熱意※ ² (1 点)	合計
(1)	3 つ	なし	○	×	1 点
(2)	2 つ	1 つ	○	○	2 点
(3)	1 つ	2 つ	○	○	2 点
(4)	なし	3 つ	×	○	1 点

※1 「7 環境負荷の少ない材料、施工方法の自発的な採用等、地球環境に優しい取組を行った。」にて評価

※2 「3 環境配慮に関する取組の実施」にて評価